



田中秀彦 議員

政権交代による本市への影響

質問

21年8月の衆議院選挙で、民主党が政権政党になった。この現実には直視すべきである。政権が変わり約3ヶ月半経過したが、自民党政権とは大きく違う手法やマニフェストが実行されようとしている。

企画部長

政権交代による本年度の影響は、現時点では9月補正予算の子育て応援特別手当、約6千480万円が執行停止となり、安全安心な学校づくり交付金

約1千395万円から572万9千円に減額された。

本市の主要財源の地方交付税、合併特例債は制度改正はなく、本年度影響はないと考えている。

質問

本市の22年度予算編成への影響について、現在の経済状況下では、国の税収の大幅減収が見込まれ、本市への地方交付税や、各種補助金カットが予想される。不透明な現状を踏まえ、本市の予算編成方針は。

また本市では大型公共工事が、3件予定されている。地

方交付税、合併特例債、町づくり交付金の推移を見極め事業執行すべきと考えるが。

企画部長

国の政策が不透明な状況下で本市の予算編成を進めている。年内に副市長査定、年明けに市長査定を踏まえ、一月中旬には新年度予算を取りまとめたい。

事業仕分けの判定が国の予算にどの様に反映されるのか、国の動向を注視し、柔軟に対応していきたい。

現時点では、昨年度の事業ベースを基本に予算編成を予定である。



愛妻デーの制定を

質問

愛西市は「愛妻」と相通ずる所がある。旅先で愛西市からと答えると、愛妻と間違え、良い名称です。ねとたびたび言われる。この際、愛妻デーを制定し、愛妻デーを開催したら、マスコミも取り上げ、本市の知名度も上がると思う。

平成19年9月の「愛妻デー制定を」の質問に、愛妻デーは1月31日が良いと話した記憶がある。しかし、2町2村が合併し3年目で、住民の融和策が先で、時期尚早との答弁であった。

八木市政は5年目である。愛西市の知名度を高めるため、愛妻デー制定の考えは。

市長

この質問を以前いただいた時、1月31日の件も話した記憶がある。現状はまさに発信力不足といえるかもしれない。

新年度に合併5周年記念事業を行う考えである。また観光協会を立上げるべく、今民間の方に準備をしていただいております、併せて企画を進めたいと考えている。

その他の質問

○地域活性化への取り組みは